

JAM第23回定期大会 安河内・中井体制を再任

## 村田きょうこ 必勝体制を確認



変革・実践 「村田きょうこ」必勝に向けて ガンバロー

JAMは第23回定期大会を8月26日東京・港区「東京グランドホテル」を主会場に全国49カ所を繋がりリモートライブ配信で開いた。

雇用確保の取り組みとして集团的労使関係の強化や目標とする賃金水準への到達として賃金・労働条件に関する取り組みなどの二年間の運動方針、第26回参議院議員選挙のJAM代表候補予定者「村田きょうこ」氏の必勝体制などを確認した

新役員には、安河内賢弘会長、中井寛哉書記長らを再任し、40人の新たな体制が確認された。

議案は「2022・23年度運動方針」、「予算」、「2021年春季生活闘争総括」、「当面の国政選挙への対応」など12本の議案を審議し、4人の代議員からの意見・要望を受け、それぞれ賛成多数で決定した。

安河内会長は、あいさつの中で、一連の自然災害、COVID-19によって亡くなられた方への哀悼の意を表し、エッセンシャルワーカー

へ感謝と敬意を払った。会長は「昨年と全く同じあいさつを冒頭とする今の状況が極めて残念であり腹ただしい」と語った。（挨拶詳細はホームページ JAM の主張参照）

来賓には基幹労連から神田健一中央執行委員長、第26回参議院議員選挙候補予定者「村田きょうこ」氏を招き、あいさつを受けたほか、JAMがめざす産業政策、政策制度要求と重点政策について、安河内、神田、村田の三者政策協定を交し署名・捺印した。（写真）

